

数学

東京医科歯科大学 (前期) 医学部医学科 1/1

<全体分析>

試験時間	90分	解答問題数	3題
------	-----	-------	----

解答形式

全問記述式。

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴

誘導が多い出題形式なので、うまくその誘導に乗ることが大切である。

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

例年時間内に完答するには到底厳しい難問が出題されていたが、本年は取り組みやすい良問の出題であった。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	確率	数学A	0と1を並べて得られる数列に関する確率。(3)は余事象の方が(2)を直接使え、少しだけ楽である。 なお、大小関係は2進法で考えると良い。	標準
2	三角比 三角関数	数学I 数学II	三角形ABCに正弦定理または余弦定理を用いて $\cos A$ の値を求める。 なお、三角形ABCは条件より $2\sin(A+C) = \sin A + \sin C$ を満たす。	標準
3	微分法 体積	数学II 数学III	4次関数と直線、および2次関数と直線で囲まれる部分をy軸のまわりに回転して得られる立体の体積に関する問題。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

どの問題も発想力、論証力が要求される問題であり、例年計算量も多いので、基本が身についたら過去問を徹底して研究し、数学的思考力を十分に養うようにしておくべきである。